

# 令和8年 諏訪神社奉納煙火（遠州新居の手筒花火）

一晩で1,000本もの花火が奉納 祭礼神事も江戸時代から形を変えず今に残る

7月25日【土】 <sup>ゼンヤサイ</sup>前夜祭 煙火会場／新居中学校

時間	行事・番組	内 容	会 場
13時00分	<sup>ミヤマ</sup> お宮詣り	六町の子どもたちが太鼓台を曳いてお宮詣りに向かう。その太鼓の鳴る様子から“ドンドヤイヲ”とも呼ばれる。	花火六町→ 諏訪神社
16時00分頃	<sup>シオハナ</sup> 汐花	<sup>ハナビロクチョウ</sup> 花火六町内を赤鬼・青鬼が <sup>サカキ</sup> 櫛の小枝で潮水をふって清めて廻る。	<sup>タカミマチコウミンカン</sup> 高見町公民館→ 花火六町
17時00分	練込み	<sup>ハナビロクチョウ</sup> 花火六町がそれぞれの町から激しく練り込み祭典会場へ向かう。	花火六町→ 諏訪神社
18時00分	<sup>サイカギ</sup> 斎火の儀	奉納煙火“ <sup>ゼンヤサイ</sup> 前夜祭”の火をおこす。	諏訪神社
	奉納煙火	<sup>ハナビロクチョウ</sup> 花火六町の“取締”という役人の代表者が諏訪神社社前で各々1本ずつ花火を奉納する。	
	<sup>テバ</sup> お出張り	神様が降臨され花火見物に出張る。	諏訪神社→新居中
19時15分	<sup>オオヤマコウジョウ</sup> 大山口上	“ <sup>オオヤマ</sup> 大山”と呼ばれる高い櫓の上から“ <sup>ヤクビト</sup> 大山”という役人の挨拶で祭礼が開始される。	新居中学校 【見どころ】 新居の手筒花火の象徴でもある猿田彦煙火が奉納される。
	<sup>オオツツ</sup> 大筒（手筒花火）	1. 仲町 2. 源太山町 3. 上田町 4. 中田町の順で出す。	
	<sup>サンヤク</sup> 三役（手筒花火）	<sup>ゲンダヤママチ</sup> 源太山町・ <sup>カミニシマチ</sup> 上西町・ <sup>ナカマチ</sup> 仲町の同時点火。	
	<sup>カミダマチオオツツ</sup> 上田町大筒（据付式）	今年も“ <sup>ゼンヤサイ</sup> 前夜祭”の前日に行っていた“ <sup>ココロ</sup> 試み”が開催されないため、従来、“ <sup>ココロ</sup> 試み”で行われていた <sup>ロッシンソロ</sup> 六本揃い、 <sup>ココロ</sup> 試み形式 <sup>ランツ</sup> 乱点けなどが“ <sup>ゼンヤサイ</sup> 前夜祭”で予定されている。次から次へと手筒花火を点火する <sup>ランツ</sup> 乱点けでは、一度に数十本の火柱が見られる。	
	<sup>カミニシマチサルタヒコエンカ</sup> 上西町猿田彦煙火 （手筒花火乱点け）		
	<sup>ナカダマチソウツツ</sup> 中田町双筒（据付式）		
	<sup>ココロ</sup> 試み形式乱点け （ふっきり）（手筒花火乱点け）		
	<sup>ナカマチオオツツ</sup> 仲町大筒（据付式）		
	<sup>ロッシンソロ</sup> 六本揃い（手筒花火）	<sup>ハナビロクチョウ</sup> 花火六町／ <sup>ゲンダヤママチ</sup> 源太山町・ <sup>カミニシマチ</sup> 上西町・ <sup>カミダマチ</sup> 上田町・ <sup>ナカダマチ</sup> 中田町・ <sup>ナカマチ</sup> 仲町の同時点火。	
21時00分	スターメイン		

※この表の時間は目安です。

7月26日【日】 <sup>ホン マツ</sup> 本祭り 諏訪神社・花火六町内

時間	行事・番組	内 容	会 場
10時00分	スワ ジンジャレイタイサイ 諏訪神社例大祭	<sup>ミヤサ</sup> “宮座”で六町内小学生女子による“浦安の舞”が披露される。	諏訪神社
15時00分	ゴシンタイ ウツギ 御神体遷しの儀	神様の御魂を神輿に遷す。	諏訪神社
	ミコン ト、ギョ 神輿渡御	神様が神輿に乗り <sup>キウアライシユク</sup> 旧新居宿（花火六町と踊り四町）をまわる儀式。神輿の列は、その太鼓の鳴る様子から“テンテンカッ”とも呼ばれる。	→旧新居宿 →諏訪神社
19時00分	ロクチョウマワ 六町廻り	六町それぞれの子ども太鼓台曳き廻しと、“取締”や“若い衆”による“馬鹿祭り”で賑やかに六町を廻る。	花火六町内
21時00分	手打ち式 ( <sup>ホン マツ</sup> 本祭り)	お祭りの締め。花火六町内、 <sup>ナカダマチ</sup> 中田町カニヤの四つ角で行われる最後の手打ち式。六町役人代表者が集まり丸く輪になり行われる儀式。	<sup>ナカダ マチ</sup> 中田町 かにや前 <sup>ヨ</sup> 四つ角

<sup>ハナビロクチョウ</sup>花火六町 / <sup>キウアライシユク</sup>旧新居宿の上<sup>カミニシマチ</sup>西町、<sup>タカミマチ</sup>高見町、<sup>カミダマチ</sup>上田町、<sup>ナカマチ</sup>仲町、<sup>ナカダマチ</sup>中田町、<sup>ゲンダヤママチ</sup>源太山町の六町をいう。  
<sup>アライ シュクナイ</sup>新居宿内には<sup>ミナトジンジャ</sup>湊神社の秋の<sup>オド</sup>踊り祭りを<sup>オド ヨンチョウ</sup>行う“踊り四町”と呼ばれる<sup>イズミマチ</sup>泉町、<sup>フナマチ</sup>船町、<sup>タマチ</sup>俵町、<sup>サカエマチ</sup>栄町もある。

<sup>ヤクビト</sup>役人（祭典委員） / <sup>スワジンジャ</sup>花火祭りを仕切る<sup>ウジコ</sup>諏訪神社氏子六町（<sup>ハナビ ロクチョウ</sup>花火六町）の人たちで構成。  
 年長者から<sup>セウケ</sup>世話係・<sup>トリシメ</sup>取締に分かれる。